

【令和五年度 自己評価・学校関係者評価報告書】

学校法人名倉学園
愛心幼稚園

1. 教育目標

幼児期にふさわしい生活や遊びを通して、主体的・対話的に学ぶ環境を整え、幼児の興味や関心に基づいた実体験による学びや、友だちや教師との温かく共感的なかわりから得られる信頼関係を大切にしてい、『生きる力』の基礎を養う幼児教育を目指している。

◎目指す人間像

- ・自分の周りのひとや環境に、愛情と関心をもってかかわろうとする
- ・見たり聞いたり感じたことを創意工夫して表現できる
- ・自分で考え人と話し合い力を合わせて物事にとりくむ

2. 年間の重点目標・計画

昨年に引き続き、園内での新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気や消毒等の必要な予防対策をとり、園内の安全面や衛生面を見直し、園児の遊びや学びの機会をできる限り確保できるように園生活や行事の方法を検討し工夫する。園生活の様子を、IT 機器も使用しながら保護者に伝え、家庭と連携しながら、コロナ禍での園児の心身の健やかな育ちを援助できるように努める。

3. 評価項目の達成および取組み状況

評価項目	結果	理由
園児の遊びや生活の安全面で見直しが必要に感じられることを教職員間で共通理解を図り、解決策を考える。	B	日常の園生活の中の安全面で、教員が各自ヒヤリハットとを感じる場面を取り上げ、情報を共有し解決策を共に考えることができた。園庭の大型遊具の使い方について、専門業者からアドバイスを得て今後、新たな遊具の導入を検討していく。
保育中の衛生管理を見直し、消毒作業や予防対策をしながら、園の教育活動をより活気のある充実した内容にする。	A	とくに感染症の流行期は引き続きトイレや保育室内の共有部分の丁寧な清掃と必要に応じて遊具の消毒作業を、毎日欠かさずするように努めてきた。大人数が集まる場所の換気をしながらクラスを超えた異年齢の遊びや保護者の協力のもとにミニコンサートや楽しいイベントを開催する等の工夫をしてきた。
ネイティブスピーカー講師と共に園児が楽しみながら英語の音声や文字、言葉に親しむ。	A	指導案は園主導で作成し、ネイティブスピーカー講師と相談しながら、園児の日々の生活や園行事に合わせた内容にしてきた。復習用の動画配信も行い園児が興味をもった時に学べる環境作りに努めた。

<p>野菜を栽培し収穫してクッキングを行う食育や、様々な生き物の飼育による‘命を学ぶ’取り組みを行い、命の大切さを学ぶ。</p>	<p>A</p>	<p>野菜を育てる土づくりから行い、種をまき、水をやり、収穫した野菜を使ってクッキングを行う、一連の活動が、まさに食育となり、苦手な野菜を克服する園児も見られた。また、蝶やカブト虫、蚕など様々な生き物を飼育していく中で、小さな命の誕生から死まで観察することで、生命の大切さやリサイクルの仕組みなども学ぶ事ができ、大変、有意義な活動となっている。</p>
<p>教師が幼児支援や創作活動などの多様な研修を受け、保育内容の向上に努める。</p>	<p>A</p>	<p>定期的な園内研修のほか、東京都私立幼稚園教育研修会主催の外部研修に全教員で多く参加して幼児教育の知見を深め、自園の教育環境をより良くする工夫を続けている。</p>
<p>教育課程に基づいた指導計画の内容を、各学期末に見直しながら、教育の質向上に努める。</p>	<p>B</p>	<p>遠足、運動会、クリスマス会、発表会、等の従来の行事をあり方や方法を検討して実施した。また、日常の園生活で園児が豊かな体験を多くできるように環境を吟味してきた。毎学期末に反省会を行い、教育内容を見直した。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>総合</p>	<p>A</p>	<p>身近な自然や小動物にふれながら『幼児の健康な体と心を育てる』ことを第一に考えて、園児達が‘遊びの中の学び’を得られるように、遊びの内容や教育活動を検討しながら実施してきた。今年から教員達が対面での研修に参加し、教育分野への理解を深めたり、他園と様々な情報交換をしてその後の自園の教育内容向上に努めることができた。英語講師や体操講師とよく協力し、園児の興味関心や発達段階に合った教育内容を考えて実施し、園児の体験する内容が豊かになるように努めてきた。園内の衛生面や安全面、教育活動について、毎学期終了後の園内研修で、教職員全員で見直し、遊具や教具の出し方や安全な遊び方を検討して日々の保育に活かすようにした。</p>
-----------	----------	--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
安全管理	専門業者等から継続的に情報を得て、今後、園庭環境を見直し、新たな遊具の購入を検討していく。園庭遊びの様子を、教職員間で確認しながら、より安全に園児が生活していけるように環境の整え方を、引続き考えていきたい。
個別の支援を必要とする園児への教育方法を考え、実施する。	園児の遊びや人間関係をよく観察し、保護者とも面談をして発達の状況について共に把握するよう努める。関係機関と連携しながら個別の指導上の留意点を確認し、指導計画を作成し日々の保育を実施する。園児の発達の様子に応じて、保護者と相談しながら指導方法を考え、臨機応変に対応していきたい。
園生活が活気ある豊かなものになるように努め、働いている保護者も状況に応じて参加や協力が得られるように工夫していく。	異年齢の園児交流の機会をより自然なものになるように見直していく。保護者の園行事や保育参加の様々な方法を検討する。保護者会やクラスだより、IT 機器なども使用しながら、各家庭へ園での子ども達の様子を伝えて、園生活への理解を深め、保護者同士の情報交換等の場を設けていく。

- 評価基準
- A 十分に成果があった
 - B 成果があった
 - C 少し成果があった
 - D 改善が必要

6. 学校関係者評価委員会の評価

教育水準向上支援事業についての学校関係者評価

項目	理 由
ネイティブスピーカー講師と共に園児が楽しみながら英語の音声や文字、言葉に親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・フォニックスを取り入れていただいたことにより、幼稚園でやったことを自宅にしっかり持ち帰ってくる事が出来ています。 ・毎週楽しみにしております。ご指導くださいました言葉を自宅で家族に教えてくれます。その際の嬉しそうな様子から、英語が「楽しい」→「好き」と感情の変化も見られます。何よりティナ先生のお人柄が大好きなようです。いつも細やかな英語のご指導をくださり、ありがとうございます。 ・英語の本を借りたり買ったりしたい！と言うようになりました。

<p>野菜を栽培し収穫してクッキングを行う食育や、様々な生き物の飼育による‘命を学ぶ’取り組みを行い、命の大切さを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土作りから始まり、自分達で育てた野菜を収穫して頂く喜び、経験は貴重だと思う。 ・自分たちで作った物を、調理し、食べること、食べ物のありがたみや喜びを知ることが出来、また、嫌いな物を挑戦しようとする気持ちが芽生えたり、料理に興味を持つようになるので、とても素晴らしいことだと思います。今後もよろしくお願いします。 ・蚕を通して命の大切さを学ぶ活動は素晴らしいと思う。子供達に話し合わせて、その結果により毎年蚕をどうするか変わるのも素敵な考え方だと思う。 ・蚕をどうするかについての話し合いは、ホワイトボードに飾って頂いたものを拝読して、子供たちが様々な考えで意見を出していて、とても胸に沁みました。
<p>教師が幼児支援や創作活動などの多様な研修を受け、保育内容の向上に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・造形コーナーが新しくなってそこで色々なものを毎日作って見せてくれます。 ・‘虹の日’で年長さんから応援団を教えてもらってすごく嬉しかったと言っていました。 ・大好きなお話を劇遊びでできて喜んでいました。ダンスもお気に入り家でずっと踊っています。 ・幼稚園が楽しすぎると言って毎日通っています。

総 評

新型コロナウイルスによる行動制限も収束し、保護者が参加できる、以前の保育活動が戻ってきた点は良かった。また、季節の行事に関しても、時期や活動内容、方法を変更しながら実施に向けての努力がみられた。英語指導は動画配信などで指導内容が分かり、子ども達が少しずつ英語に慣れ親しんでいる様子もみられ、引き続き継続を期待したい。小さい生き物を育てて生命の大切さを体験的に学ぶ機会があり、子ども達の成長につながっていることを実感している。

今年度は、保護者が行事に参加できる機会がより多くなり、子どもたちも、他学年の活動を見る機会が増え、大変良かったと感じている。